

虹 こんにちはは平井明美です

宮前小や若狭小に

「エアコン」設置へ

基地騒音の 防衛予算で 補助受けて実現を

入間基地の飛行機騒音で、暑い夏も窓を開けることができない宮前小や若狭小



この子らが大きくなっても 平和であってほしい。(市内保育園で)

学校などは、教室の温度が37度にも上がってしまうそうです。子どもたちは「ぐったりして勉強

公約実現にがんばりました

皆さんこんにちは。初議会で議場の正面に「日の丸」が掲げられたことは、平和を願う私の気持ちと逆なです。国会では有事法制が強行採決され、イラク特措法で戦争中のイ

ラクへ自衛隊を送ろうという危険な動きです。イラクの気温は47度、水道の設備や病院も壊され、それらを直す技術者に来てほしいと訴えているのです。もし自衛隊が米軍と一

緒に行動するようなら、事態はもつと危険です。「戦争はいや！」この声を大きく広げ、有事法制を発動させないよう皆さんとご一緒にがんばります。

平井明美

に集中できない」「ペットボトル持参で通学している」などの実態を訴えました。また入間、飯能、狭山市などは航空機騒音の防衛予算でエアコンがすでに設置されています。当市も騒音地域では、空調設備の75%から100%の補助がつくことを指摘し、暑い夏に向

かって、一刻も早くエアコンを設置してほしいと質問しました。星野教育総務部長は「設置経費の概算額の試算をしている。防衛庁の補助率の内容について再度確認する」と前向きな答弁です。また保健室への電話設置には、「予算内で順次設置する」と答え、全学校への設置はまだ先のようです。

和ヶ原公園に

トイしゃや日かげを

「和ヶ原の国有地を公園に」と議会で取り上げ、皆さんと署名を集め、市に要望書を出したのは五年前です。今年の四月に開園された「和ヶ原公園」はそういう運動の経過もあり、みんなで作ったという実感が込められている公園です。朝は六時三

十分からラジオ体操、午前中は小さな子どもたち、夕方は青少年たちが利用する姿をうれしく見ながら、私は毎日「和ヶ原公園」の脇を自転車でかけぬけています。初議会では「トイレや樹木、子どもたちの遊具を」と議会で取り

上げました。志村道路公園部長は「和ヶ原公園のトイレについては近隣の理解があれば設置したい。樹木についても設置の方向で努力したい」など前向きな答弁で傍聴者を喜ばせました。

- 一般質問(要旨)
- ①住基ネットと人権問題
 - ②有事法制と自治体との関わり
 - ③宮前小・若狭小にエアコン設置
 - ④和ヶ原公園にトイレと日かげを
 - ⑤お年寄りの虐待問題
 - ⑥高額医療費の払い戻し
 - ⑦所沢市のホームページの改善について



お年寄りへの虐待……

訪問し実態調査を

お年寄りの虐待が社会的な問題になっています。介護保険が導入され当市では五千五百八十五人のお年寄りが介護保険の認定を受けながら、



そのうち一千五百人がサービスを受けていません。虐待は保健士など公の職員が訪問した際、発覚されるのがほとんどです。また八十才以上の女性が虐待される例が多く、加害者は息子、嫁、娘の順だそうです。この虐待を防ぐために介護保険課と高齢者いきが

い課との連携プレーや介護を受けていないお年寄りの実態調査を求めました。福祉部長は「介護認定の見直しの時、民

生委員など通じて把握する」など答えています。本来なら市の職員や保健士などが地域に入り、どのようなことで家族が困っているのか、お年寄りの実態を調査すべきではないでしょうか。

平井議員の取り上げた「エアコン設置」の質問は、子どもの勉強しやすい環境を大人(市民)の責任で作らなければいけないという大事な質問だった。「有事法制下」に対する市長答弁は、市民の安全について全く答えていないことがよく解った。(和ヶ原・前田長蔵)

傍聴席から

「宮前や若狭小学校に冷房を」の質問。教室の温度が日中37度を越えて、児童が授業に集中できないことや飛行機の騒音地域は防衛予算が100%使える事が判明し、平井議員の綿密な調査や教室の実態に市長も検討させると言わざるをえなくなった。また「和ヶ原公園のトイレも「設置の方向」という答弁で、思わず拍手しそうになった。

(東狭山ヶ丘・関口きよむ)

有事法制下の自治体

市民はどうなる



払い戻しができません

お年寄りの高額医療費

昨年10月からのお年寄りの医療費が1割負担になったことで、お年寄りは病院に行くのをためらっています。医療費の限度額(8千円や1万2千円)を超えると払い戻しを受けられますが、知らないお年寄りが多く、広く知らせるべきと質問しました。

限度額を越えた方は、市役所から申請書(申し込書)が送られてきます。ぜひ手続きをして、払い戻しをして下さい。

(福祉総務課 998-9113)

有事法制はアメリカの戦争に日本が参戦する法律です。国立市の上原市長が「万が一の時、市長は市民を戦争に駆り立てる役割をさせられる。その時は市長を辞めるか、あくまで抵抗して牢獄に送ってもらおう覚悟」の発言に感銘しました。そこで同じ首長の齋藤市長は有事法制をどう受けとめているのか。②米軍基地や医学研究センター、防衛医大などの役割がどう変わるのか。③自衛隊法では、会館、体育館、水道なども軍事優先で職員も動員され、断れば罰則もある。この危険な内容を広く知らせるべきだと質問しました。市長は

「国会で活発な論議が必要。有事が発生しないようにすることが大切」と答弁。そこで「それは私と同意見なので、国に意見書を……」の再質問に、市長は「国会で九割も賛成している有事法制に、自分も賛成である」などと答え、本音をちらりりぞかせました。

あとかき

初当選させていただいてから、四期十六年間で六十四回の一般質問をしてきました。議場での私のやりとりを観て、保守系の議員から「平井さんは市長と本気でやりあうからなあ」と感心されます。私にとって議場は市民要求を実現するための闘いの場でもあるのです。



政治革新の道しるべ
真実つたえ希望をはこぶ
しんぶん
赤旗
日刊●月2,900円 日曜版●月800円